



特定非営利活動法人

HUG for ALL

活動紹介



虐待や貧困が理由で、未来をあきらめていい子どもなんて、いない。

■ 本日の内容

1 HUG for ALLの活動理念

2 児童養護施設の子どものまなびの現状

3 HUG for ALLの取り組み

■ 本日の内容

1 HUG for ALLの活動理念

2 児童養護施設の子どものまなびの現状

3 HUG for ALLの取り組み

すべての子どもたちに 「安心できる居場所」と 「生きる力」を



わたしたちHUG for ALLは、

児童養護施設の子どもたちが「**安心できる居場所**」を見つけ、

「**生きる力**」を身につけられるように

施設職員の方々、そして多様な“**信頼できる大人たち**”とともに支えていきます。

■ 活動理念に込めた想い

すべての子どもの前には無限の可能性が広がっています。
しかし、生まれた環境によって未来をあきらめてしまう子どもがいます。

HUG for ALLでは

子ども一人ひとりに寄り添いながら継続して見守ることで
安心できる居場所を増やし、

子どもの意欲を伸ばして自信につなげることで
これからの社会で**生きる力**を育みます。

子どもたちの未来の可能性を広げ、
それぞれが自分らしく幸せをつかむことができるように
HUG for ALLは活動を続けています。



■ 本日の内容

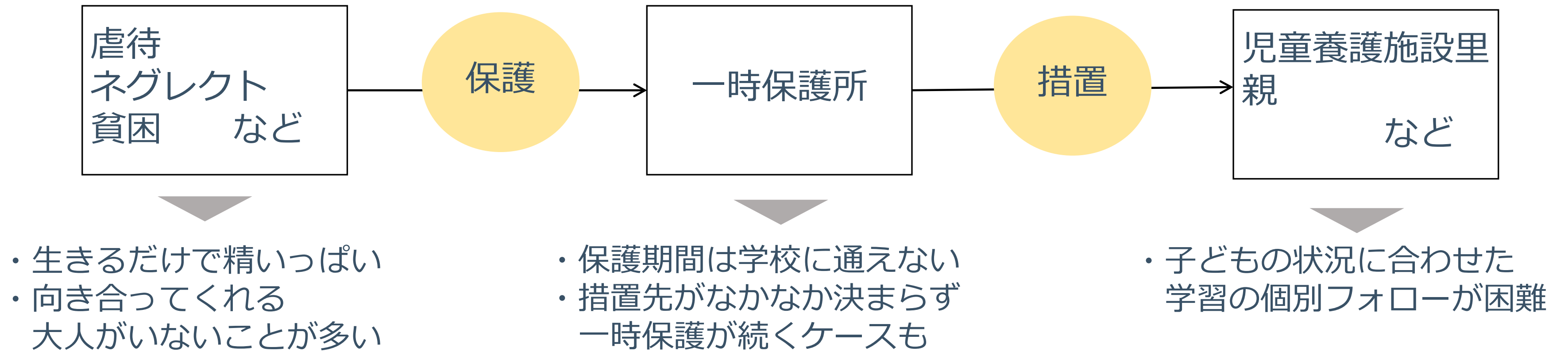
1 HUG for ALLの活動理念

2 児童養護施設の子どものまなびの現状

3 HUG for ALLの取り組み

勉強が苦手になりやすい子どもたち

児童養護施設に入所するまで勉強できる環境がなく、学習が苦手になりやすい。

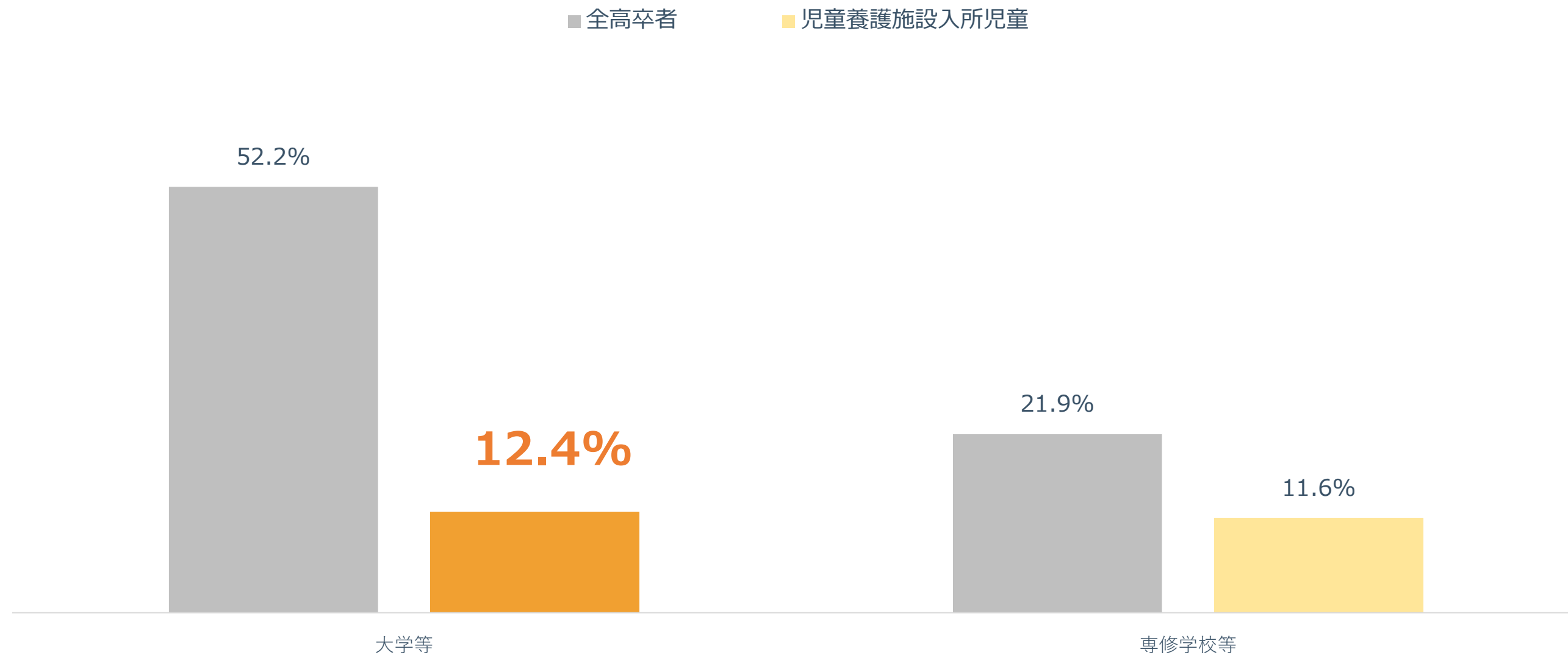


**結果的に勉強についていけない状況が生まれ、
学校での失敗体験から、自己否定・自己不信に陥ることも。**

■ 入所児童の高校卒業後の進学率

児童養護施設入所者の大学等進学率は全国平均の1/4以下、専修学校等を含めても1/3程度

2015年度高卒者の進路



■ 児童養護施設を退所したあとも…

- ✓ 児童養護施設退所者の正規雇用率は低く、就職後1年以内の離職率も高い。
- ✓ 離職後に行き場をなくしてしまい、性産業に従事したり、犯罪に手を染める人もいる。
- ✓ 知的障害のある男性は、若年ホームレスになるケースも。



■ 安心して未来へ挑戦できる社会へ

虐待や貧困といった厳しい環境やさまざまな事情を抱え、苦しい思いをしている子どもたちは、自分を否定し、未来をあきらめてしまうことも少なくありません。

しかし **HUG for ALL** は、さまざまな苦しい体験を乗り越えて、一生懸命生きようとしている子どもたちには**無限の可能性**があると信じています。

HUG for ALL は、**すべての子どもたちが安心して挑戦できる社会**をつくるために、たくさんの信頼できる大人の方々とともに、歩んでいきたいと願っています。



■ 本日の内容

1 HUG for ALLの活動理念

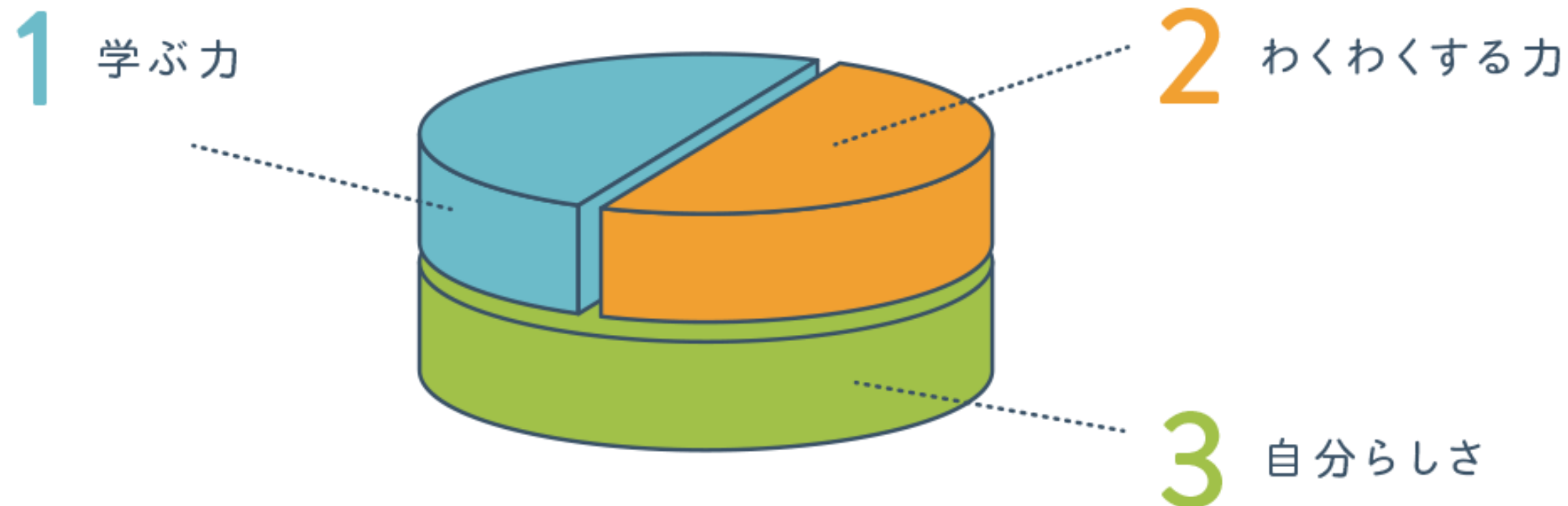
2 児童養護施設の子どものまなびの現状

3 HUG for ALLの取り組み

■ 活動内容

HUG for ALLでは、すべての子どもが、「**安心できる居場所**」を持ち、「**生きる力**」を育むことが出来る社会をつくるため、児童養護施設の支援を行っています。

私たちは、**①学ぶ力**、**②わくわくする力**、**③自分らしさ** の3つを「生きる力」と定義しています。



学力を上げるということだけではなく、社会に出た後も自分の頭で考えられるように、子どもたちの生活や心をいかに支えていくか、**生きる力**を大切にしています



■ 体験プログラム

HUG for ALL では、「生きる力」を育む体験プログラム、社会人ボランティアと共に提供しています。

無理に勉強を教えるのではなく、**子どもたち一人ひとりの状況や気持ちに寄り添いながら、その子らしい成長を継続的に見守っています。**

まなぶ意欲を育む

まなびクエスト

小学生向け



子ども1人に対し2~3名の担当ボランティアが継続的に関わる対話型コーチングを提供。できること・できた経験を増やすことで、喜びや自信につなげます。

スキヤトクイを見つける

あそびクエスト

小学生向け



子どもたちと一緒にアートや運動、理科実験など様々なことを体験します。活動を通して、それぞれの個性を見つけ、育むことを目指しています。

自立のための力を育む

はたちクエスト

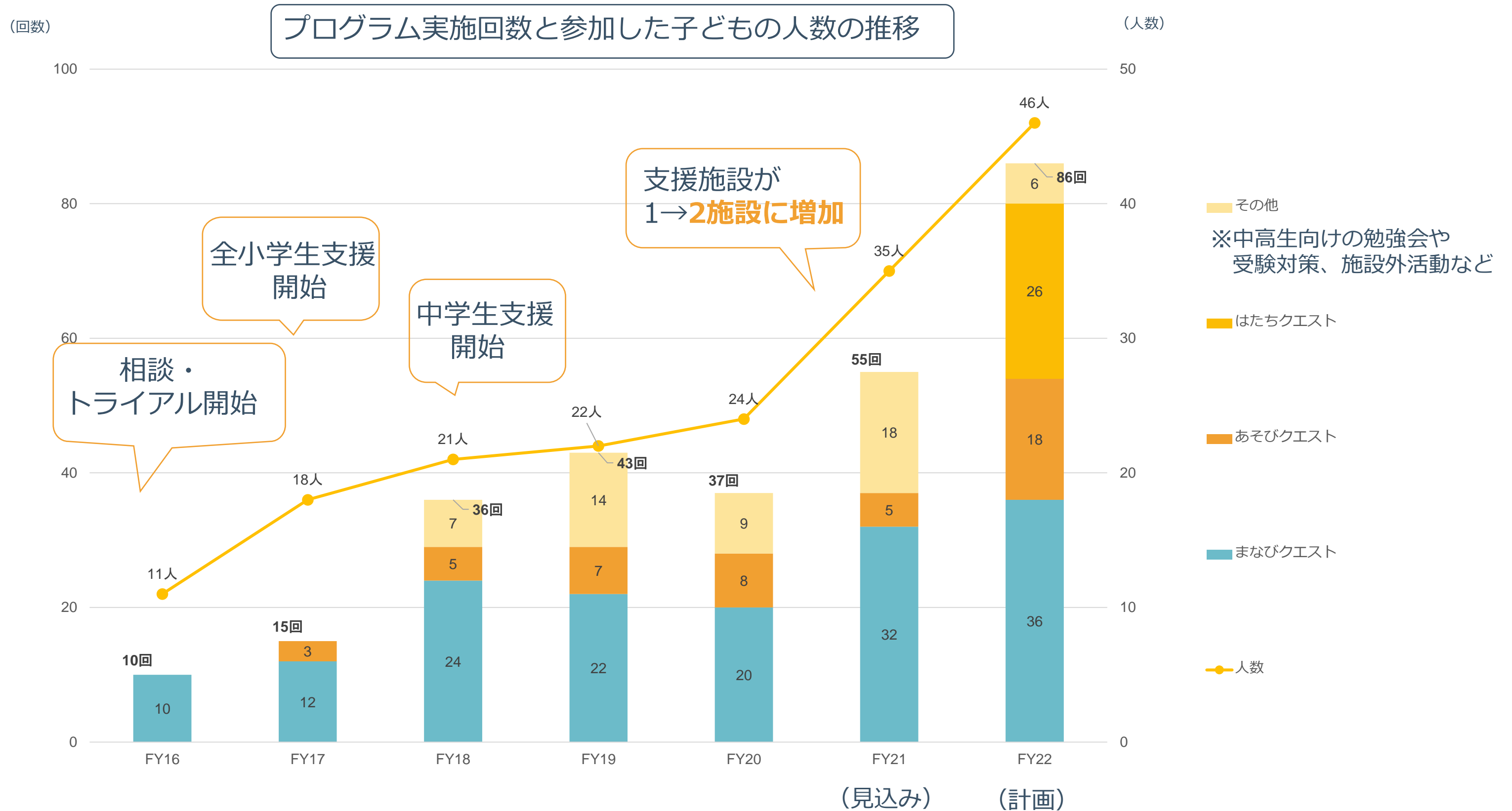
中高生向け



それぞれの業界でキャリアを積んできた多様なHUGメンバーの経験や人脈を活かし、将来の仕事を考える機会を提供。未来を考えた進路選択をサポートします。

活動実績

2016年度から、都内 1 施設を支援。2021年度秋から、2施設目への支援も開始しました。



■ 子どもの変化

心を開いてくれなかったAくん

施設に入所してから1年近く、大人への警戒心が強くて、なかなか心を開いてくれなかったAくん。彼自身の気持ちを尊重しながら、声をかけ続けた結果、少しずつ自分のきもちを話してくれるようになりました。



「だって私ばかりだもん」と言っていたBちゃん

小学1年生の夏休みに「学校の勉強はしたくない、だって私ばかりだもん」と言っていたBちゃん。「できたこと」に注目して、少しずつ成功体験を積み重ねていった結果、いまでは「上の学年で習う漢字を教えて！」と自分から言ってくれるようになりました。小学校2年生の秋には「割り算やりたい！」など、いろんな強化でやる気も満々です。



算数を「やりたくない」と言っていたCくん

算数に苦手意識があったCくん。ある日「わからない問題を教えてほしい」と苦手な算数の問題に自分から取り組んでくれました。段階を追って一つずつ丁寧に一緒に考えていくことで、わからなかった問題が解けるようになって、少し勉強に自信がついたようでした。



■ 子どもの変化



本を読むことが嫌いだったDくん

文字を読むのも書くのも苦手で、本を読むことがきらいなDくん。Dくんの好きなものや、興味のあるものを聞いて、それに関連する絵本やお話を用意することで読み聞かせを聞いてくれたり、「自分でも読んでみる！」と言ってくれるようになりました。



高校受験を控えたEちゃん

面接に向けて、自己PRや将来について考えていたときに、小学生の頃から知っているHUGメンバーからのアドバイスをもらって笑顔で納得！自分の考えをしっかりと言葉にできたことと、何度も面接練習を重ねた甲斐があって無事に高校に入学することができました。

HUG for ALLは、子ども1人に2~3人の大人が担当として関わり、継続的に寄り添います。その子らしい成長を、丁寧に見守っていくからこそできること。それが、一人ひとりの状況や気持ちに寄り添い、それぞれの力を伸ばすことだと考えています。

職員さんの声



手がまわらない部分のサポートが助かってます

施設職員さんは、子どもたちの生活（掃除、洗濯、買い物、食事等）を支えるのが最優先。日々の生活と、様々なトラブルがある毎日の中で、子どものまなびや自立支援に時間をかけたくてもなかなか時間がとれないという悩みを持つ職員さんも少なくありません。その中で、まなびや自立支援のサポートなど職員さんだけではなかなか手が回らないことを **HUG for ALL** に任せていただくことで、子どもたちへの支援を充実させることができたと言っていました。



知らなかった子どもの姿に気付くことができました

HUG for ALL の支援レポートや、子どもたちの作文や作品などを職員さんに共有すると「〇〇ちゃんってこんなことができるんですね！」「こんなことを思っているんですね」と驚きの声をいただくことがよくあります。異なる立場で子どもに関わっているからこそ職員さんが見えていない子どもの姿が見えてくるのかもしれない。

施設職員さんだけでは手がまわらないまなび・自立支援のサポートや、子どもの新しい一面の気づきの機会の提供に価値を感じていただいています。



子どもたちに**HUG**を

関わって下さっている皆様にも**HUG**を

私たちは、**HUG for ALL**です